

第 16 回全国登山研究集会 実施要綱

日本勤労者山岳連盟

テーマ 日本の登山文化・技術を次世代に継承発展させよう！

日本勤労者山岳連盟の歴史から学んで

目 的

多様で複雑な社会の中で人々の意識や要求も多様化しており、登山の発展の原動力は、これらの登山要求のなかにあるといっても過言ではない。特定の登山方法・内容を固定化・絶対化せずに、厳しい山岳自然環境を舞台にして登山活動を発展させ、創造的な登山をめざすことが「登山の多様な発展」につながることは言うまでもない。このような活動は、地方連盟の会・クラブで実践されている。このように、多様な形態と内容の登山に応じて活動している山岳会、クラブの経験を全国に普及していくことが求められている。

このたび、次のような目的を掲げ全国登山研究集会を開催することとした。この集会では、山を愛する心と安全に登るための技術を次の世代に継承すること、会員を含める国民の多様な登山要求に応じて、登山文化を豊かに育むこと、登山の歴史と経験をふまえて、強固な会・クラブに発展させていくこと などについて、地方連盟や会・クラブの経験交流を行う。テーマごとに分科会を設け、参加者が自由に発言できる場にする。

- 期 日 2016年11月5日(土)～6日(日)
- 場 所 国立オリンピック記念青少年総合センター
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3番1号
電話 03-3469-2525
(新宿駅から小田急線 参宮橋駅下車 徒歩約7分)
- 集 合 初日 国際交流棟2F 第一ミーティングルーム 13:00～受付
6日 センター棟4F 415 8:30～受付
- 参加対象 登山会員および全国の登山者
- 主 催 日本勤労者山岳連盟
- 主 管 全国登山研究集会実行員会

日 程	5日	13:00	受付
		13:30	開会あいさつ
		13:40~15:00	基調講演 登山文化・技術を次世代に継承するために、 労山の歴史から学ぶ(仮題) 日本勤労者山岳連盟理事長・浦添嘉徳
		15:00~15:20	休憩
		15:20~16:00	映像で見る労山のこれまでの活動と現状について
		16:00~17:00	報告 地方連盟および加盟団体の活動状況
		17:00~18:00	夕食
		18:00~20:00	報告 地方連盟および加盟団体より
		20:00~	宿泊施設で各自交流
	6日	7:00~8:00	朝食
		9:00~12:00	分科会、ハイキング集会
		12:00	分科会・ハイキング集会ごとに解散

分科会は、山行管理と登山技術・遭難対策、山岳会・クラブの運営と組織強化、会員拡大のHPの活用や未組織登山者を対象にした登山学校の開校、会報の発行体制と「登山時報」の活用、若手(40歳未満)交流集会などを予定している。分科会について要望があれば意見を出していただき、実行委員会で検討し対応する。

- 費用
1. 一泊二食での参加 5,000円
 2. 日帰りの参加 一日でも二日でも 500円(資料代)

宿泊 国立オリンピック記念青少年総合センター宿泊棟

問い合わせ先 全国連盟事務局 TEL 03-3260-6331
 FAX 03-3260-6331 E-mail jwaf@jwaf.jp

参加申込締切 10月25日(火) 別紙にて全国連盟事務局まで
 (申込書は別途用意する)

レポート募集

地方連盟および会・クラブから下記のテーマで活動報告を求めます。
成功事例や特徴的な活動として、全国の仲間に広めていきたいと考えていますので、第16回全国登山研究集会では、地方連盟・会・クラブから寄せられたレポートを報告集として作成し、当日の資料とします。
寄せられたレポートのなかから、全国登山研究集会で発表していただく方々を選出することにします。発表者については、会場までの交通費は全国連盟で負担します。

テーマ

会員拡大の経験（登山教室や自治体のニュース活用など）
山行管理の体制と緊急時の対応（メーリングリストの活用など）
新たな入会者（若手）に対し山行などをどのように働きかけているか
会報発行の工夫と年発行回数（発行体制など）
ホームページの活用
労山の基金や歴史などの教育
会の運営と体制で工夫・努力していること（月例会の開催数、役員の選出など）

報告書の書式と枚数は下記のようにお願いします。

ワード文書、用紙 A4、余白 上下左右ともに25mm、文字数・行数 40
フォントの設定 日本語用のフォント MS明朝、英数字用のフォント MS明朝
（または日本語用と同じ）、スタイル 標準、サイズ 12
文書1枚、写真や図表がある場合は追加1枚

以上をパソコンメールに添付でお送りください。

報告期限 2016年9月30日